

東京フィルの
午後の
コンサート。

2021 4

〈二人は聖火ランナー〉

第9回 渋谷の午後のコンサート

4月21日(水) 14:00開演

Bunkamura オーチャードホール





©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
オーケストラの響きとともに広がる＜新しい景色＞を
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

JP ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第9回

渋谷の午後のコンサート。

4.21 (水) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Wed. April 21, 2021, 14:00 Start at Bunkamura Orchard Hall

2021シーズン
開幕!

〈二人は聖火ランナー〉

指揮とお話 川瀬賢太郎 Kentaro Kawase, conductor & speaker

ヴァイオリン 千住真理子* Mariko Senju, violin

コンサートマスター 近藤 薫 Kaoru Kondo, concertmaster

ビゼー：歌劇『カルメン』より第1幕への前奏曲 (約3分)

Bizet: Prelude to Act 1 from opera "Carmen" (ca. 3 min)

ヴィヴァルディ：『四季』より「春」第1楽章* (約3分)

Vivaldi: 1st movement of "Spring" from The Four Seasons (ca. 3 min)

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op. 35より
第1楽章* (約18分)

Tchaikovsky: 1st movement from Violin Concerto in D major, Op. 35 (ca. 18 min)

フチーク：剣士の入場 Op. 68 (約3分)

Fučík: Entrance of the Gladiators, Op. 68 (ca. 3 min)

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op. 92より

第1楽章、第4楽章 (約20分)

Beethoven: 1st and 4th movement from Symphony No. 7 in A major, Op. 92 (ca. 20 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：朝日新聞社、Bunkamura

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with The Asahi Shimbun Company, Bunkamura



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

※演奏中や曲間・楽章間での入退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。

※再入場：途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter or reenter in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
- Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance.

出演者プロフィール

指揮とお話 川瀬賢太郎

Kentaro Kawase, conductor & speaker

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。これまでに指揮を広上淳一など各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール＜指揮＞において2位（最高位）に入賞。その後各地のオーケストラから次々に招きを受ける。2011年4月には名古屋フィルハ指揮者に、2014年4月より神奈川フィル常任指揮者に就任。細川俊夫作曲「班女」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」などオペラでも目覚ましい活躍を遂げている。現在、名古屋フィル正指揮者、神奈川フィル常任指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢常任客演指揮者、三重県いなべ市親善大使。東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）特任講師。



©Yoshinori Kurosawa

ヴァイオリン 千住真理子

Mariko Senju, violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。2020年はデビュー45周年を迎えた。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）「千住家、母娘の往復書簡」（文藝春秋社文春文庫）など多数。



©Kiyotaka Saito(SCOPE)

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>

プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

本日の公演について

オリンピックの行方が気になる昨今ですが、本日指揮台に立つ指揮の川瀬賢太郎とヴァイオリンの千住真理子は、ふたりとも「聖火ランナー」。聖火リレーでは都道府県ごとにランナーが決められており、川瀬と千住は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の推薦により神奈川県の新火ランナーに選ばれています。

本日演奏される曲にはスポーツシーンを連想させる曲も含まれています。ビゼーの『カルメン』前奏曲では闘牛士たちの行進が描かれます。フチャクの「剣士の入場」も格闘技などで使われる曲。ベートーヴェンの交響曲第7番にはダンスの要素がありますので、この曲も広い意味ではスポーツ的といえるかもしれません。



マエストロ川瀬がオリンピックイヤーにふさわしい躍動感あふれる楽曲をお届けします。

写真提供：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

魔性の女が男の運命を狂わせる

ビゼー：歌劇『カルメン』より第1幕への前奏曲

ジョルジュ・ビゼー(1838-1875)の代表作がオペラ『カルメン』。前奏曲はその幕開けの音楽です。



Bizet

カルメンは「魔性の女」の代名詞といってもいいでしょう。

オペラの舞台はスペインのセビリア。純情な竜騎兵ドン・ホセが奔放なカルメンに誘惑され、破滅するまでが描かれます。ホセはカルメンのために仕事も許嫁も捨てて、密輸団の仲間に入りますが、移り気なカルメンはすぐにホセに飽きてしまいます。新しい恋人は闘牛士のエスカミーリョ。嫉妬に狂ったホセは、闘牛場でカルメンを待ち構え、復縁しなければ殺すと迫ります。

前奏曲は快活な行進曲で始まります。これは闘牛士の入場の場面の音楽。これから始まる戦いへのワクワクするような期待感が表現されています。続いて、スター闘牛士であるエスカミーリョを表す「闘牛士の歌」が奏でられ、ふたたび行進曲に戻ります。

その後、一転して悲劇的なムードが立ち込めます。カルメンの悲劇的な死がオペラの冒頭からすでに予告されているのです。

春が来た！季節の風物詩を音楽で描く

ヴィヴァルディ：『四季』より「春」第1楽章



Vivaldi

イタリアのバロック音楽を代表する作曲家アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741)は、協奏曲集『四季』で季節の風物詩を表現しました。春夏秋冬の4曲のなかで、もっとも広く親しまれているのが第1曲「春」の第1楽章。春の情景が音楽によって描写されています。

ヴィヴァルディは親切にもこの曲集にソネット(十四行詩)と呼ばれる詩を添えてくれました。これを読めば、それぞれの曲がどんな場面を表しているかがよくわかります。「春」第1楽章で描かれるのは、春の到来の喜びと、小鳥のさえずり、やさしい風、小川のせせらぎ。一瞬、空が暗くなって春雷がとどろきますが、嵐が通り過ぎると、ふたたび小鳥たちが歌い始めます。

ヴァイオリンが鳥のさえずりを模倣しているのが、おわかりになりますでしょうか。こんな具体的な春の情景を、音楽の自然な流れの中で表現できてしまうのがヴィ

ヴァルディの偉大さ。曲は喜びにあふれています。春が来て気分が浮き立つのは、イタリアも日本も変わりありません。

酷評を超えて名曲の仲間入りを果たした協奏曲

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲より第1楽章



ロシアが生んだ最大の作曲家が**ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー**（1840-1893）。1878年、早まった結婚が失敗に終わった傷心から、チャイコフスキーはスイスに渡って静養します。失意の作曲家のもとを訪れたのは、親密な間柄のヴァイオリニスト、イオシフ・コテック。コテックに刺激され、チャイコフスキーは創作意欲を回復して、この**ヴァイオリン協奏曲**を1か月足らずで書き上げました。

作品はすぐに仕上がりましたが、初演は一筋縄ではいきません。当時の大家レオポルト・アウアーから演奏不可能として初演を拒否されてしまうのです。代わってアドルフ・ブロッツキがウィーンで初演を引き受けてくれましたが、これが野次と酷評にさらされることに。有名評論家ハンスリックによれば「悪趣味なものを作ることにかけては並の才能ではない」。大変な酷評ぶりですが、各地で演奏を繰り返すたびに次第に評価は高まり、今ではベートーヴェンやブラームスと並ぶ、もっとも人気の高いヴァイオリン協奏曲となっています。初めて聴く作品の評価を的確に判断するのは、たとえ著名な評論家であっても容易ではありません。

第1楽章はドラマティックな序奏に続いて、独奏ヴァイオリンが登場し、ノスタルジックなメロディを悠然と奏で、雄大で情熱的な楽想が繰り広げられます。

サーカスの音楽!? 聴けばだれもが知っているあの名曲

フチーク：剣士の入場

曲名も作曲者の名前もわからないけれど、聴けばだれもがどこかで聴いたことがある曲。**ユリウス・フチーク**（1872-1916）の**「剣士の入場」**はそんな名曲です。勇ましくて、少しコミカルなこの曲。さて、どこで耳にしたのでしょうか。たとえばサーカス。ピエロの入場の場面に使われます。あるいは遊園地やテーマパークを思い出す方も多いことでしょう。スポーツシーンや映画、テレビCMなどで使用



されることもよくあります。吹奏楽で演奏した経験があるという方もいらっしゃるかもしれませんが。

フチークはチェコのプラハに生まれた音楽家です。音楽院でファゴットとヴァイオリンを学び、あのドヴォルザークに作曲を学びました。その後、軍楽隊に入って指揮者および作曲家として頭角を現します。たくさんの行進曲を作曲しましたが、なんといっても有名なのは、この「剣士の入場」。当初、作曲者は「半音階的大行進曲」と名付けていましたが、ローマ帝国を舞台とした歴史小説に触発されて、「剣士の入場」と曲名を改めました。フチークのイメージは剣闘士（グラディエーター）だったのですが、現代の私たちはピエロや遊園地を思い浮かべてしまうのですから、音楽とは不思議なものです。

エネルギー！ 生命力あふれるリズムの饗宴

ベートーヴェン：交響曲第7番より第1楽章、第4楽章



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770-1827）が書いた9つの交響曲のなかでも、とりわけ人気が高いのがこの**交響曲第7番**です。人気の秘密は生命力あふれるリズムの活用。まるでダンスミュージックと言いたくなるようなリズムカルな曲想を、ワーグナーは「舞踏の神格化」と呼んで讃えました。本当なら通俗的であるダンスの音楽が、神様のレベルにまで高められている、そんなニュアンスでしょう。

ベートーヴェン本人にとっても自信作だったようで、興行師に宛てた手紙で「私のもっともすぐれた作品のひとつ、イ長調の大交響曲」と記しています。1813年、ウィーンでの初演は大成を収めました。

本日は全4楽章から、最初の**第1楽章**と最後の**第4楽章**が演奏されます。

第1楽章は堂々としてゆったりとした序奏で開始されます。やがて弾むようなリズムに導かれて、推進力みなぎる主部が続きます。

第4楽章は激しく叩きつけるようなリズムで始まります。このリズムが執拗に繰り返され、熱狂と興奮のなかで壮絶なクライマックスを迎えます。

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40 のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修（朝日新聞出版）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

次回の 今後のコンサート

渋谷

6月9日(水)

第10回

渋谷の午後のコンサート



©上野隆文

名曲には名シーン

指揮とお話：尾高忠明

R.シュトラウス／交響詩『ツアラトゥストラはかく語りき』

J.ウィリアムズ／映画『シンドラーのリスト』よりテーマ

フェイン／映画『慕情』より『慕情』

マーラー／交響曲第5番より第4楽章アダージェット

E.バーンスタイン／映画『荒野の七人』より

ワーグナー／楽劇『ワルキューレ』より『ワルキューレの騎行』

スタイナー／映画『風と共に去りぬ』より『タラのテーマ』

マンシーニ／映画『ティファニーで朝食を』より『ムーン・リバー』

ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版)

名画の1シーンが
名曲でよみがえる！

お客様の
質問募集中!

尾高忠明 東京フィル桂冠指揮者。国内主要オーケストラで重要なポストを歴任、英国を中心に欧米の名門オーケストラで客演を重ねる、日本が誇るマエストロ。NHK「音楽の広場」など放送出演も多く「午後のコンサート」での話術も人気を博す。

2021シーズン、「平日」「休日」シリーズも、まもなく開幕

桂冠指揮者・マエストロ尾高忠明や首席指揮者バッティストーニはじめ、豪華出演者のお話とともに名曲をお届けします。詳細は次ページをご覧ください。

平日

5月6日(木)



第21回

平日の午後のコンサート

バッティが語る

指揮とお話：アンドレア・
バッティストーニ

休日

6月6日(日)



第88回

休日の午後のコンサート

名曲には名シーン

指揮とお話：尾高忠明

お申し込み・お問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (10時～18時・土日祝休) URL www.tpo.or.jp/

2021シーズン 午後のコンサート いよいよスタート!



イラスト：ハラダチエ

2021シーズンの「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」3シリーズ、「渋谷」を皮切りにいよいよスタートいたしました。「平日／休日」シリーズの4回セット券は発売中、1回券は各シリーズとも6月公演まで発売中です(残席状況はそれぞれウェブサイトなどでご確認ください)。

2021シーズンも、名曲と楽しいお話で充実の午後のひとときをお届けします。

午後のコンサート(各シリーズ共通)

4回セット券	S席	A席	B席	C席
定価	¥20,520	¥16,560	¥11,160	¥8,400
東京フィルフレンズ	¥18,468	¥14,904	¥10,044	¥7,560
1回券	S席	A席	B席	C席
定価	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
東京フィルフレンズ	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※セット券は現在、「平日」「休日」シリーズのみ販売中です。

“大人の渋谷” Bunkamuraで楽しむ 渋谷の午後のコンサート

Bunkamura オーチャードホール

6月9日(水) 第10回

指揮とお話: 尾高忠明

1回券
発売中

名曲には名シーン

フェイン／映画『慕情』より「慕情」
ワーグナー／楽劇『ワルキューレ』より
「ワルキューレの騎行」
スタイナー／映画『風と共に去りぬ』より
「タラのテーマ」
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版) ほか

9月7日(火) 第11回

指揮とお話: 小林研一郎

1回券6月発売

コパケンのチャイコフスキークライマックス!!

チャイコフスキー／
歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりポロネーズ
弦楽セレナードより第1楽章
交響曲第6番『悲愴』より第3楽章
交響曲第5番より第2楽章
交響曲第4番より第4楽章

ほか

11月2日(火) 第12回

指揮とお話:
アンドレア・バッティストーニ

1回券8月発売

バッティストーニの運命

ヴェルディ／歌劇『運命の力』序曲
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ブッチェーニ／歌劇『マノン・レスコー』間奏曲
ボンキエリ／歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

photo: 尾高忠明©Takafumi Ueno 小林研一郎©山本倫子 アンドレア・バッティストーニ©Takafumi Ueno

お申し込み・お問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (10時～18時・土日祝休) URL www.tpo.or.jp/

ゆったりと、平日午後に“音楽のご褒美” 平日の午後のコンサート 東京オペラシティ コンサートホール

5月6日(木) 第21回

指揮とお話:
アンドレア・バッティストーニ

1回券
発売中

バッティが語る

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』序曲
ケテルビー／ベルシャの市場にて
ワルトイフェル／スケーターズ・ワルツ
ドヴォルザーク／ユーモレスク
交響曲第8番より第3楽章、第4楽章

ほか

7月27日(火) 第22回

指揮とお話:尾高忠明

テンポはマーチ

1回券6月発売

古関裕而／スポーツショー行進曲
J.F. ワグナー／行進曲「双頭の鷲の旗の下に」
スーザ／行進曲「星条旗よ永遠なれ」
レスピーギ／交響詩『ローマの松』より
「アッピア街道の松」

ほか

10月21日(木) 第23回

指揮とお話:円光寺雅彦
ピアノ:清塚信也*



1回券6月発売

忘れ難きふるさと

グリーグ／
劇付随音楽『ペール・ギュント』より
「朝へ山の魔王の宮殿にて」
ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲*
ドヴォルザーク／交響曲第9番『新世界より』

photo: アンドレア・バッティストーニ © Takafumi Ueno 尾高忠明 © Martin Richardson 円光寺雅彦 © K. Miura ミツ橋敬子 © 大杉幸平 仲連郁代 © Kiyotaka Saito (SCOPE)

2022年2月3日(木) 第24回

指揮とお話:三ツ橋敬子
ピアノ:仲連郁代*



1回券8月発売

夢を語りますか

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番
ショパン／アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ガロネーズ*
ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ
チャイコフスキー／幻想序曲『ロメオとジュリエット』

元祖!22年目を迎える“ご長寿”シリーズ 休日の午後のコンサート 東京オペラシティ コンサートホール

6月6日(日) 第88回

指揮とお話:尾高忠明

1回券
発売中

名曲には名シーン

フェイン／映画『慕情』より「慕情」
ワグナー／楽劇『ワルキューレ』より
「ワルキューレの騎行」
スタイナー／映画『風と共に去りぬ』より
「タラのテーマ」
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版) ほか

9月5日(日) 第89回

指揮とお話:小林研一郎

1回券6月発売

コバケンのチャイコフスキーライマックス!!

チャイコフスキー／弦楽セレナードより第1楽章
バレエ組曲『くるみ割り人形』より
「行進曲〜トレバック〜花のワルツ」
交響曲第6番『悲愴』より第3楽章
交響曲第5番より第2楽章
交響曲第4番より第4楽章

ほか

11月7日(日) 第90回

指揮とお話:
アンドレア・バッティストーニ



1回券8月発売

バッティストーニの運命

ヴェルディ／歌劇『運命の力』序曲
ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲
ブッチェーニ／歌劇『マノン・レスコー』間奏曲
ボンキエッリ／歌劇『ラ・ジョコンダ』より「時の踊り」
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

2022年2月6日(日) 第91回

指揮とお話:三ツ橋敬子
ピアノ:仲連郁代*



1回券8月発売

テーマは愛

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番
ショパン／アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ガロネーズ*
ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ
チャイコフスキー／バレエ組曲『白鳥の湖』より

photo: 尾高忠明 © Martin Richardson 小林研一郎 © 山本倫子 アンドレア・バッティストーニ © Takafumi Ueno ミツ橋敬子 © 大杉幸平 仲連郁代 © Kiyotaka Saito (SCOPE)

風と共に遺産が舞い込んだオーケストラ

——クラシック音楽とメディアの逸話

青山学院大学名誉教授
佐久間章行

東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。今回は、長年クラシック音楽に親しみ、パートナー会員として東京フィルをご支援くださっている青山学院大学名誉教授の佐久間章行様に登場いただきます。クラシック音楽の熱心な愛好家として、また芸術文化活動を支える支援者として音楽シーンを見つめてきた佐久間様。米国アトランタ赴任中に体験した、とあるエピソードを語ってくださいました。

1971年に米国ジョージア州アトランタ市にあるジョージア工科大学に客員助教授として赴任していた時のことである。

ある朝アトランタ・ジャーナル紙の朝刊を見て驚いた。なんと1面トップの大見出しに「アトランタ・シンフォニーの指揮者

ロバート・ショウが辞意を表明」と載っている。アトランタ・ジャーナル紙は「風と共に去りぬ」の著者マーガレット・ミッチェル女史も勤めていた代表的な地方紙であり、通常の1面トップは、政治・経済・社会システム関連のニュースと決まっていた。

ロバート・ショウ (Robert Shaw) は、1948年にロバート・ショウ合唱団を設立して全米屈指の合唱団に育てた指揮者であり、1967年にアトランタ・シンフォニーの音楽監督に就任すると併設の合唱団を組織するなど活発に活動していた。



ご自宅のオーディオルームは音響設計をヤマハ(株)に依頼したという本格的なものの。「クリムトの絵画『音楽Ⅱ』を眺めつつ、B&W社の800Diamondの音を聴いています」と佐久間様

米国赴任中の思い出のお写真は全米50州を走破した愛車ギャラクシーとともに。
「クラシック音楽専門のラジオ局が遠くなり電波が途絶えると、次の都市のクラシック専門局の電波が待ち遠しくなりました」



次の日もアトランタ・ジャーナル紙は1面トップに「名指揮者ロバート・ショウをアトランタに引き留めよう」と載せた、その後も毎日のようにロバート・ショウ関連の記事が1面を飾った。

ロバート・ショウが辞意を抱いた最大の原因は、理事会との対立にあった。理事会はオーケストラの財務内容重視であり、支援者数の増加を最重点事項として設定し、演奏会のプログラムも有名な馴染みのある名曲ばかりを要求していた。一方、指揮者とオーケストラのメンバーは、さらに多様な選曲を望んだのである。

アトランタ・ジャーナル紙のこのような騒ぎは一ヶ月ほど続いた。すると、さる大富豪の未亡人が「ロバート・ショウを引き留めに役立つなら」と巨額な夫の遺産をポンと寄付したのである。問題は急転直下に解決した。ロバート・ショウは1988年までアトランタ・シンフォニーに留まり、シンフォニーを立派に育て上げた。さらに黒人霊歌の合唱曲の分野にも大きく貢献した。

この話を音楽三田会（※音楽関係に従事する慶應義塾出身または関係者による親睦会）の月例会で、ダークダックスのメンバーの一人である喜^き早^{そう}哲^{てつ}さんにワイングラスを片手に披露したところ「そりゃあーそうですよ、ヨーロッパでは古（いにしえ）より、そのようになっていますよ」と当然のように捉えていた。



佐久間章行（さくま・あきゆき）

1935年東京生まれ、1960年慶應義塾大学院修了、同年管理工学科・助手。工学博士。1965年青山学院大学経営工学科講師～名誉教授。1971年ジョージア工科大学IE学科・客員助教授。日本経営工学会長。「人類存続主義」の提唱者、「AI次世代文明」の研究者、著書：「人類の滅亡と文明の崩壊の回避」「高度技術社会のパスpekティブ」（丸善プラネット）

Photo Reports 2021年1～3月の演奏会より

2021年最初の演奏会、「ニューイヤーコンサート2021」には、日替わりで二人の若き音楽家が登場、華やかに新年の幕開けを飾りました。2021シーズン開幕を飾る1月定期演奏会は首席指揮者アンドレア・パッティストニが登壇。定期演奏会2公演、地方公演を含む5つの演奏会でタクトをとりました。

写真=三浦興一／2 FaithCompany

ニューイヤーコンサート2021(1/2,3)

指揮：三ツ橋敬子

ヴァイオリン：吉村妃鞠*(1/2)

フルート：Cocomi**(1/3)

司会：朝岡聡

コンサートマスター：依田真宣

パガニーニ／

ヴァイオリン協奏曲第1番第1楽章より*

シャミナード／

フルートとオーケストラのためのコンチェ

ルティエノ Op. 107**

【お楽しみ福袋プログラム】

ラヴェル／ボレロ ほか



恒例の獅子舞がお客様をお迎え



イラスト=沙良志乃



1月2日公演にはヴァイオリニストの吉村妃鞠さんが登場。三ツ橋敬子マエストロは袴姿で



3日の公演にはフルート奏者のCocomiさんが登場。注目を集めました

第87回 休日の午後のコンサート 〈夢のつづき〉(1/11)

指揮とお話：三ツ橋敬子

コンサートマスター：三浦章宏

外山雄三／『管弦楽のためのラプソディー』より「八木節」

J.シュトラウスII／トリッチ・トラッチ・ポルカ

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より「モルダウ」

ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」

第2楽章、第4楽章

1月定期演奏会(1/22、24)

指揮：アンドレア・パッティストーニ
 (東京フィル 首席指揮者)
 コンサートマスター：近藤薫

— 永遠の時を生きる —

ラヴェル／『ダフニスとクロエ』

第1組曲・第2組曲

ストラヴィンスキー／

バレエ組曲『火の鳥』

(1919年版)



じつに一年ぶりの来日となったマエストロ・パッティストーニ。オーケストラメンバーからも歓迎の笑顔があふれました



“管弦楽の魔術師”の異名をとるラヴェルの『ダフニスとクロエ』ほか、充実の演目でお届けしました

第53回 千葉市定期演奏会(2/7)

指揮：渡邊一正
 チェロ：佐藤晴真*
 コンサートマスター：依田真宣
 ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』、
 チェロ協奏曲*、交響曲第9番『新世界より』

響きの森クラシック・シリーズVol. 75(3/27)

指揮：小林研一郎
 チェロ：川久保賜紀*
 コンサートマスター：依田真宣
 ベートーヴェン／
 ヴァイオリン協奏曲*、交響曲第7番

第17回子どもたちと芸術家の出あう街 キラキラ☆にじいろコンサート(3/28)

指揮：渡邊一正 ピアノ：亀井聖矢
 司会：塚本江里子
 コンサートマスター：依田真宣



2歳のお子様から親子でお楽しみいただいたコンサート。俊英・亀井聖矢さんはガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」で会場を沸かせました

東京フィルは3月、国立大学法人 東京大学先端科学技術研究センターと連携協定を締結いたしました。

東京フィルは3月1日、国立大学法人 東京大学先端科学技術研究センターと学術の振興、産業の発展及び活力ある豊かな社会づくりに資することを目的として、連携協定を締結いたしました。それぞれの機関の有する知識、経験及び能力を活かし、研究交流、産学官連携、人材育成等を推進してまいります。

連携協定に際し、東京フィル専務理事の石丸恭一が同センター・社会連携研究部門（先端アートデザイン分野）アドバイザーに、コンサートマスターの近藤薫が同部門特任教授として着任いたしました。



左：東京フィル 専務理事 石丸恭一、右：東京大学先端科学技術研究センター所長 神崎亮平氏 ©星ひかる

連携協定に関するプレスリリース詳細はこちらからご覧いただけます。
<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/news/release/20210301.html>



ご挨拶 2020年12月をもってホルン奏者 古野淳が定年退団いたしました。

東京フィルメンバーとして最後の出演は「NHK紅白歌合戦」でした。

「同僚とたくさんのお客様に支えられ、38年もの長きにわたり幸せなオーケストラ生活を送ることが出来ました。東京フィルに居なければ決して出会うことの無い偉大なマエストロ、素晴らしいソリストとの共演をはじめ、新国立劇場での数々の優れたオペラ、バレエの初演を経験してこられたことは、自分の人生においても大きな財産となりました。2014年のワールドツアーは東京フィルが世界的にも認められた成果として忘れられません。任期満了にて東京フィルは卒業しましたが、これからもホルンと音楽に精進してまいります。そして私自身が東京フィル・ファンであり続けることを確信しております」。長きにわたり、お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念しております。



ご挨拶 2021年2月をもってホルン奏者 今井彰が
定年退団いたしました。



©三好英輔

東京フィルメンバーとして最後の出演は、2月28日「フレッシュ名曲コンサート 福生市民会館×東京フィル『福が生まれる春の奏』」でした。

「23歳のときに受けたオーディション以来40年間東京フィル一筋でホルンを演奏してまいりました。最初の欧州旅行のときに、本番当日にいきなり代理で1番ホルンを吹くことになり、それ以来ながく1番奏者として演奏してまいりました。音楽家の性として全ての演奏に全力をつくすのですが、音楽のためには安直に逃げずにあぶない橋も渡る…をモットーにやってきました。自分として印象に残っている演奏は、ノイマン指揮の『田園』、バルシャイ指揮のチャイコフスキー「5番」、コヴァーチュ指揮の『火の鳥』、大野和士・ゲリングスのショスタコーヴィチ「チェロ協奏曲」……などたくさんあります。長い間音楽できて幸せでした。ありがとうございました」。長きにわたり、お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念しております。

訃報 2021年2月8日、オーボエ奏者の三谷真紀さんが逝去されました。



©三好英輔

オーボエ奏者の三谷真紀さんが、去る2021年2月8日に生涯の幕を閉じました。

彼女とは学生時代からの友人でもあり、同じオーケストラの一員として、長い時間を共に歩んできました。

6年前に癌が見つかり闘病生活が始まりましたが、体力の限界までオーボエ奏者としての道を歩み、彼女が愛したオーボエ・ダモーレの演奏を収録してからその生涯を閉じました。

三谷さんは高知県出身で、土佐弁の「はちきん」という言葉が頭に浮かびます。忍耐強く献身的、負けん気も強い土佐の女性の気質を表現した言葉です。

闘病の大変さを周りに見せず、ご家族への愛情も豊かに最後までオーボエ奏者として生き抜いた彼女は「はちきんさん」だったのかなと、店頭に並ぶ鮮やかな黄色い文旦を見ながら思いを馳せています。

ドヴォルザーク『新世界より』のコールアングレの映像などを見ると、彼女が今ここにいないのが不思議な感じです。

もう同じステージであの暖かい演奏を聞くことができないことが残念です。

三谷さんのご冥福をお祈りいたしますと共に、私達とコンサートでの時間を共有してくださったお客様に心より感謝申し上げます。
(ファゴット 桔川由美)

演奏会場の感染対策について

演奏会の再開にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続いての感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真＝三浦興一／上野隆文

客席・ロビーの対策について



入場前の手指消毒、常時マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ホール入退場時の密集を避けるため、時間差による入退場をお願いしております

ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、国の機関、保健所等と連携の上、ご購入の際に取得した購入者情報を緊急連絡先として使用させていただく場合がございます。チケットご購入者にご来場者が異なり、購入者情報を緊急連絡先として望まない場合は、必ずチケット半券裏面の余白にご来場者様のお名前と緊急連絡先(電話番号など)の記載をお願いいたします。



Face Masks
Required



Physical
Distancing



Sanitizing
Stations



Frequent Cleaning
and Disinfecting



Improved Indoor
Ventilation



Reduced Visitor
Capacity

会場では常時マスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回の手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っています。

客席内は十分な換気を行っています。

時差入退場にご協力ください。

ご支援の御礼とお願い

今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年2月下旬より数ヶ月にわたり東京フィルが出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。そのような中、たくさんの励ましのお言葉とともに、チケット払戻し辞退や、コロナ禍における活動に対しての御寄附等、温かいご支援をいただきました。心より御礼申し上げます。

今後も、当面の間はお客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら公演を行ってまいる必要がございます。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけますと幸いです。1万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（23ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行 (郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入して、下記へご送付ください。

寄附申込書のダウンロードはこちらからも取得いただけます。
https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
 〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
 Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
 Tel 03-5353-9521 (土日祝日を除く10時～18時)

風が春から初夏の香りを運んでくるのを感じる季節、
皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。
今月は、皆様の心まで華やかな、季節感漂う
軽やかなハーモニーをお届けいたします。
引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史



賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IHI	代表取締役社長 井手 博	ANAホールディングス(株)	代表取締役社長 片野坂 真哉
(株)アイエムエス	取締役会長 前野 武史	(株)NHKエンタープライズ	代表取締役社長 安齋 尚志
相澤内科医院	理事長 相澤 研一	桜美林大学	総長 大越 孝
アイ・システム(株)	代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	大塚化学(株)	特別相談役 大塚 雄二郎
(株)アシックス	代表取締役会長CEO 尾山 基	(株)オーディオテクニカ	代表取締役社長 松下 和雄
(株)インターテクト	代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団	代表理事 宮内 義彦

花王(株)	代表取締役 社長執行役員	長谷部 佳宏	トッパン・フォームズ(株)	代表取締役社長	坂田 甲一
カシオ計算機(株)	代表取締役社長	樫尾 和宏	トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	豊田 章男
キャノン(株)	代表取締役会長兼社長 CEO	御手洗 富士夫	DOWAホールディングス(株)	代表取締役社長	関口 明
(株)グリーンハウス	代表取締役社長	田沼 千秋	(株)ニチケアパレス	代表取締役社長	秋山 幸男
コスモエネルギーホールディングス(株)	代表取締役社長 社長執行役員	桐山 浩	(株)ニフコ	代表取締役社長	柴尾 雅春
サントリーホールディングス(株)	代表取締役社長	新浪 剛史	日本ライフライン(株)	代表取締役社長	鈴木 啓介
信金中央金庫	理事長	柴田 弘之	(株)パラダイスインターナショナル	代表取締役	新井 秀之
新菱冷熱工業(株)	代表取締役社長	加賀美 猛	富士電機(株)	代表取締役社長	北澤 通宏
(株)J.Y.PLANNING	代表取締役	遅澤 准	(株)不二家	代表取締役社長	河村 宣行
(株)滋慶	代表取締役社長	田仲 豊徳	(株)三井住友銀行	頭取CEO	高島 誠
(株)ジーヴァエナジー	代表取締役社長	金田 直己	三菱商事(株)	代表取締役社長	垣内 威彦
菅波楽器(株)	代表取締役社長	菅波 康郎	三菱倉庫(株)	相談役	宮崎 毅
相互物産(株)	代表取締役会長	小澤 勉	(株)三菱UFJ銀行	特別顧問	小山田 隆
ソニーグループ(株)	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎	ミライババイオサイエンス(株)	代表取締役	田中 めぐみ
ソニー生命保険(株)	代表取締役社長	萩本 友男	(株)明治	代表取締役社長	松田 克也
(株)ソニーミュージックエンタテインメント	代表取締役社長CEO	村松 俊亮	森ビル(株)	代表取締役社長	辻 慎吾
(株)大丸松坂屋百貨店	代表取締役社長	澤田 太郎	ヤマトホールディングス(株)	代表取締役社長	長尾 裕
都築学園グループ	総長	都築 仁子	(株)山野楽器	代表取締役社長	山野 政彦
東急(株)	取締役社長	高橋 和夫	ユニオンツール(株)	代表取締役会長	片山 貴雄
東京オペラシティビル(株)	代表取締役社長	三和 千之	楽天グループ(株)	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
東レ(株)	代表取締役社長	日覺 昭廣	(株)リソー教育	取締役会長	岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス	代表取締役社長	畠森 達朗	(株)トレミール	代表取締役	茶谷 幸司
欧文印刷(株)	代表取締役社長	和田 美佐雄	(株)日税ビジネスサービス	代表取締役会長兼社長	吉田 雅俊
(有)オルテンシア	代表取締役	雨宮 睦美	富士通(株)	代表取締役社長	時田 隆仁
(医)カリタス菊山医院	理事長	加藤 徹	本田技研工業(株)	代表取締役社長	三部 敏宏
(医)だて内科クリニック	理事長	伊達 太郎	三菱地所(株)	執行役社長	吉田 淳一
(宗)東京大仏・乗蓮寺	代表役員	若林 隆壽	三菱重工業(株)	取締役社長	泉澤 清次
(一社)凸版印刷三幸会	代表理事	足立 直樹	三菱電機(株)	執行役社長	杉山 武史

東京フィル 賛助会 会員募集中

2021年3月に東京フィルハーモニー交響楽団は創立110年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは一年の始まりである1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の新しい暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、東京フィルは社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化するグローバル社会において心の豊かさを育み、文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「賛助会デスク」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会の後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのまた}・鹿文）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

レジデント・コンダクター
Resident Conductor

渡邊 一正
Kazumasa Watanabe

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

柄本 三津子☆
Mitsuko Tochimoto

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

黒沢 誠登
Makoto Kurosawa

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	平田 慎 Shin Hirata	武田 基樹 Motoki Takeda
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri		田場 英子 Eiko Taba	山内 正博 Masahiro Yamauchi	
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada		ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda	チューバ Tubas	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェーリ◎ Alessandro Beverari	山内 研自 Kenji Yamanouchi	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	荻野 晋 Shin Ogino	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki		黒尾 文恵 Fumie Kuroo			
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets	ティンパニー& パーカッション Timpani & Percussion	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	神田 勇哉◎ Yuya Kanda		川田 修一◎ Shuichi Kawata	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	重井 吉彦 Yoshihiko Shigei	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
	下払 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
	名雪 裕伸 Hironobu Nayuki	桔川 由美 Yumi Kikkawa	前田 寛人 Hirohito Maeda	船迫 優子 Yuko Funasako	
		森 純一 Junichi Mori		古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュペーラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バットィストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏の他、2020年にはドキュメンタリー番組『情熱大陸』や『NHK紅白歌合戦』にも出演。また、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	本田 詩子
池田 敏美	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	松澤 久美子
糸井 正博	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	湊 貞男
井料 和彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	山屋 房子
岩崎 龍彦	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	吉田 啓義
植木 佳奈	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	米倉 浩喜
上野 眞行	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	坂名城 昌子	脇屋 俊介
生方 正好	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	
大兼久 輝宴	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	
大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	細川 克己	
岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細洞 寛	

〈発行日〉2021(令和3)年4月21日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉県 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン・本文イラスト〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Afternoon Concerts 2021season
